

令和3年度 給食施設状況調査および栄養管理状況報告書の集計結果

1 目的

健康増進法第21条に基づき、給食施設は栄養管理を適切に行い、給食を通じて利用者の健康増進を推進する観点から、特定給食施設の設置者に栄養管理基準の遵守が義務付けられている。

県では、特定給食施設に対し適切な栄養管理について支援するため、福井県健康増進法施行細則第4条に基づき、栄養管理状況報告書の提出を求めている。また、その他の給食施設には、給食施設状況調査を行っている。

令和3年度に提出があった栄養管理状況報告書および給食施設状況調査票をとりまとめ、施設状況および栄養管理状況について把握したので、報告する。

2 調査時期

令和2年6月

3 集計項目

特定給食施設：栄養管理状況報告書（義務）

※施設区分によって報告書の様式が異なる。詳細はホームページを参照。

その他の給食施設：給食施設状況調査票（任意）

4 提出状況

県内給食施設 ※施設区分は別紙1のとおり

(1) 特定給食施設：継続的に1回100食以上または1日250食以上の食事を供給する施設

施設区分	保健所							
	福井市	福井 (永平寺町)	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計
学校	58	7	30	14	50	24	18	201
病院	19	1	5	2	9	6	3	45
介護老人保健施設	9	0	4	2	7	4	1	27
介護医療院	0	0	0	0	2	0	0	2
老人福祉施設	19	3	8	5	12	7	3	57
児童福祉施設	61	4	24	5	38	12	7	151
社会福祉施設	3	0	1	2	4	0	0	10
事業所	0	0	0	0	1	3	0	4
寄宿舍	1	0	0	0	1	1	0	3
矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0
自衛隊	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	2	0	0	0	0	3
計	171	15	74	30	124	57	32	503

(2) その他の給食施設：継続的に1回20食以上または1日50食以上の食事を供給する施設

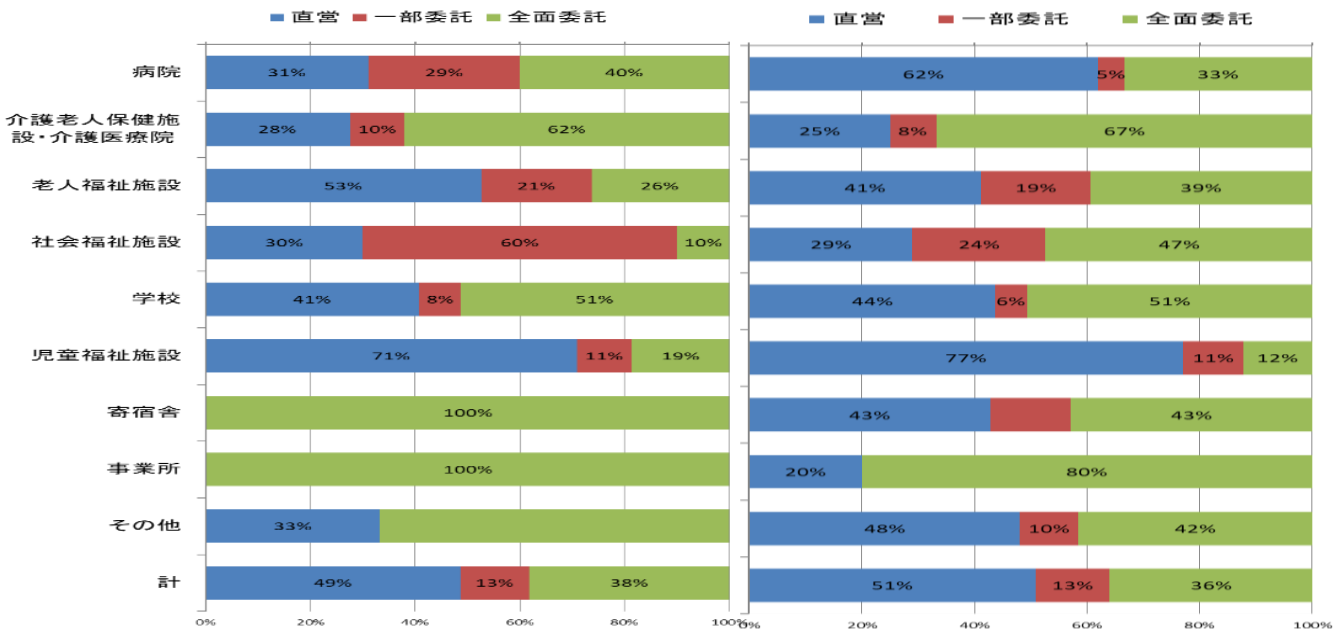
施設区分 \ 保健所	福井	福井 (永平寺町)	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計
学校	23	5	5	14	21	8	11	87
病院	8	0	2	4	6	0	1	21
介護老人保健施設	5	0	2	1	1	2	2	8
介護医療院	1	0	0	0	2	0	1	4
老人福祉施設	48	5	35	14	38	12	18	170
児童福祉施設	33	4	20	19	27	18	18	139
社会福祉施設	11	0	4	7	7	3	6	38
事業所	0	0	0	0	1	0	4	5
寄宿舍	2	0	2	1	1	1	0	7
矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0
自衛隊	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	38	1	11	2	16	6	2	76
計	164	15	81	62	121	50	63	556

5 調査結果

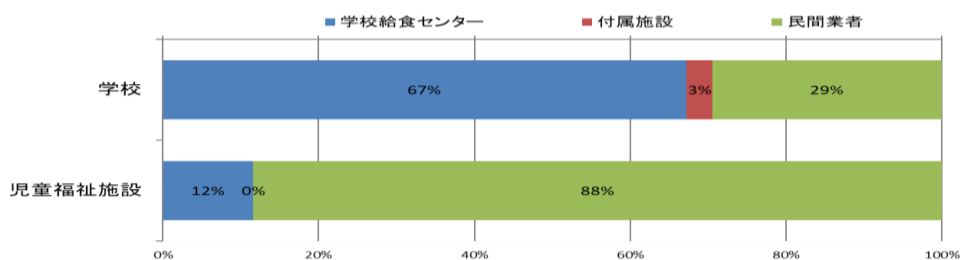
(1) 給食の運営状況

< 特定給食施設 >

< その他の給食施設 >

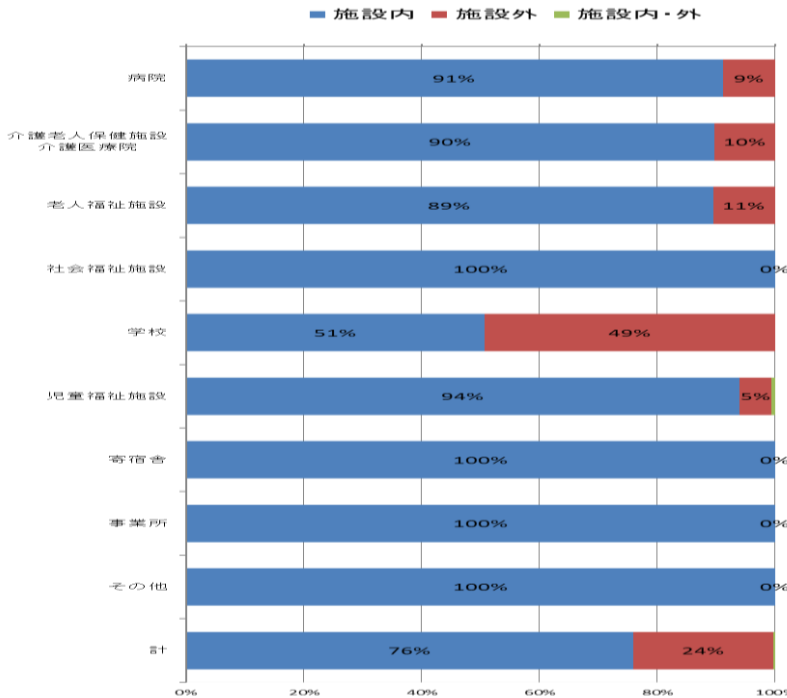


【学校・児童福祉施設の委託先】

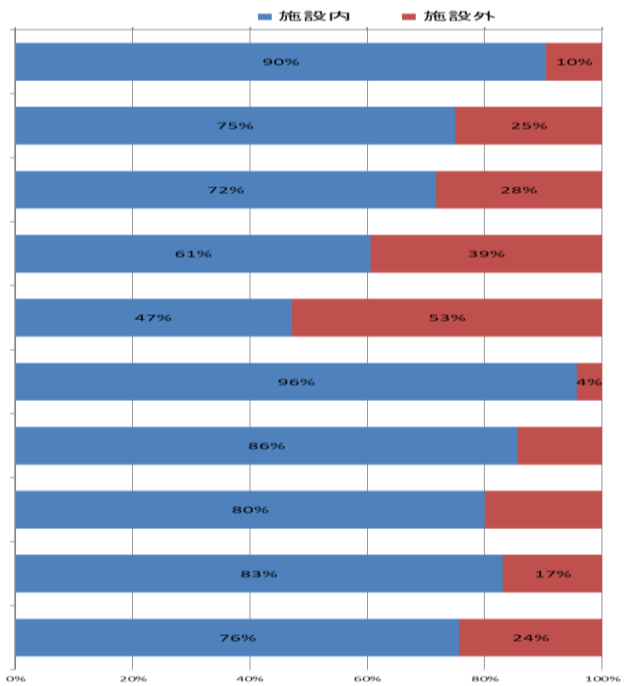


(2) 調理場所

<特定給食施設>



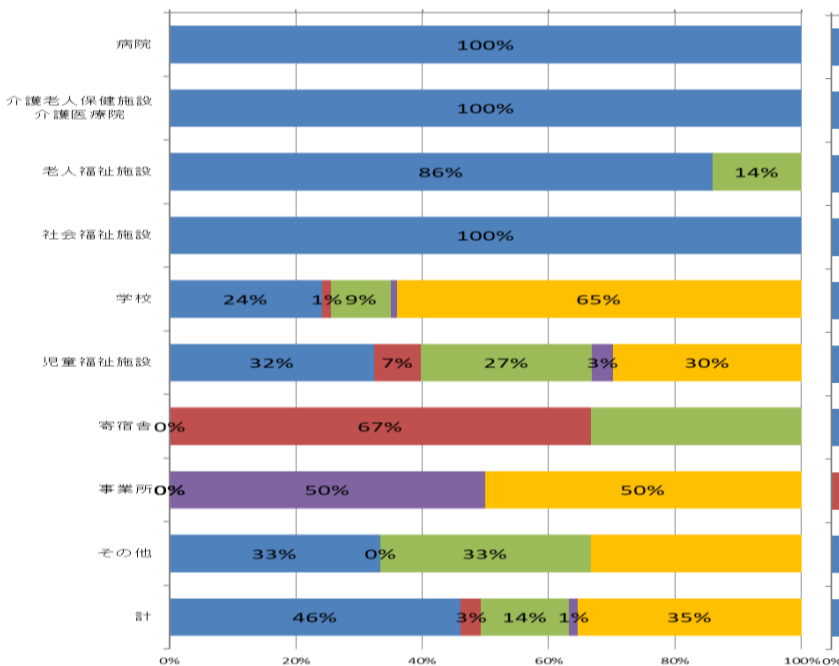
<その他の給食施設>



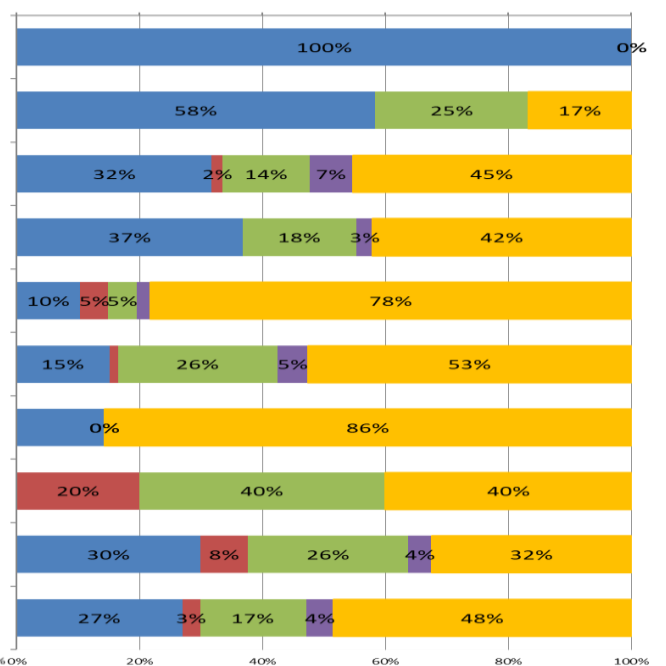
(3) 管理栄養士・栄養士の配置状況

- 管理栄養士(常勤)がいる施設数
- 管理栄養士(非常勤)がいる施設数
- 栄養士(常勤)がいる施設数
- 栄養士(非常勤)のみいる施設数
- 管理栄養士・栄養士が兼務または不在

<特定給食施設>



<その他の給食施設>



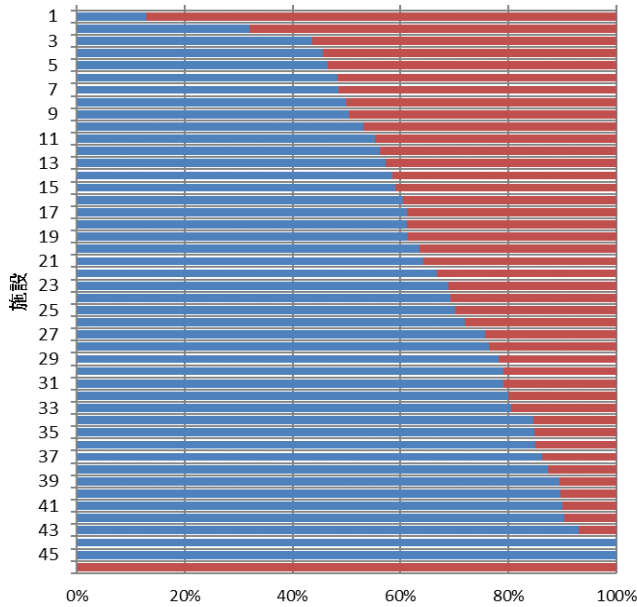
個別の栄養管理が重視される者を対象とした施設（病院や介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設）では管理栄養士・栄養士の配置率が高いが、健康増進を目的とした施設（学校、児童福祉施設、事業所、寄宿舎）では兼務または不在の施設も多い。

(4) 特別食（療養食）の提供割合

施設区分	提供割合	
	最大	平均
病院	87.2%	31.8%
介護老人保健施設	79.0%	22.6%
老人福祉施設	54.5%	7.3%
社会福祉施設	19.6%	5.2%

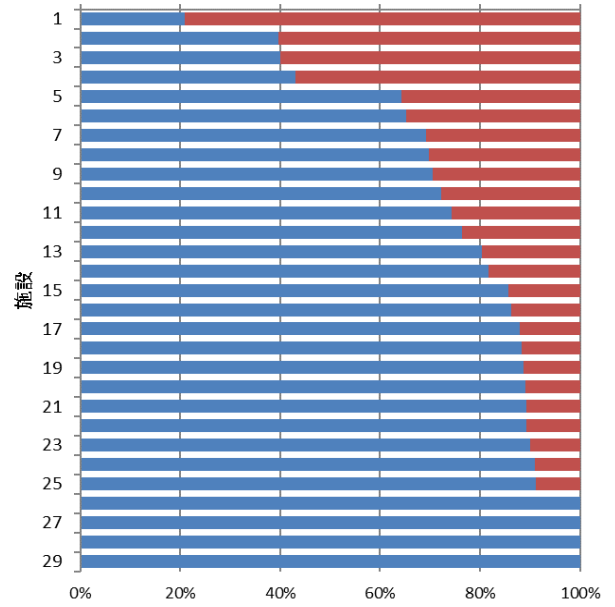
<病院>

■ 一般食 ■ 特別食



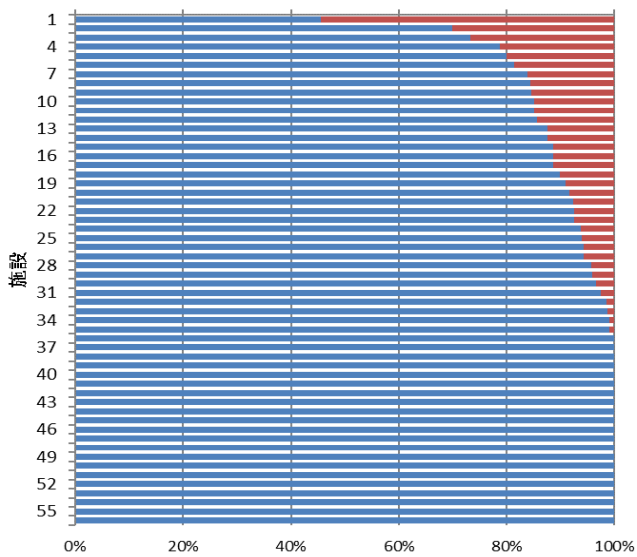
<介護老人保健施設・介護医療院>

■ 一般食 ■ 療養食



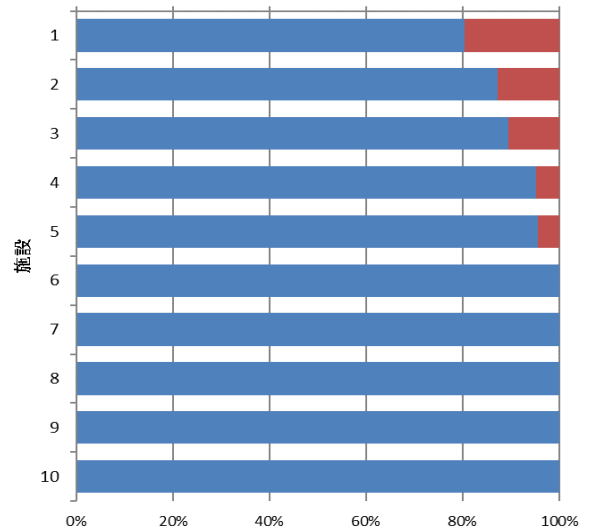
<老人福祉施設>

■ 一般食 ■ 療養食



<社会福祉施設>

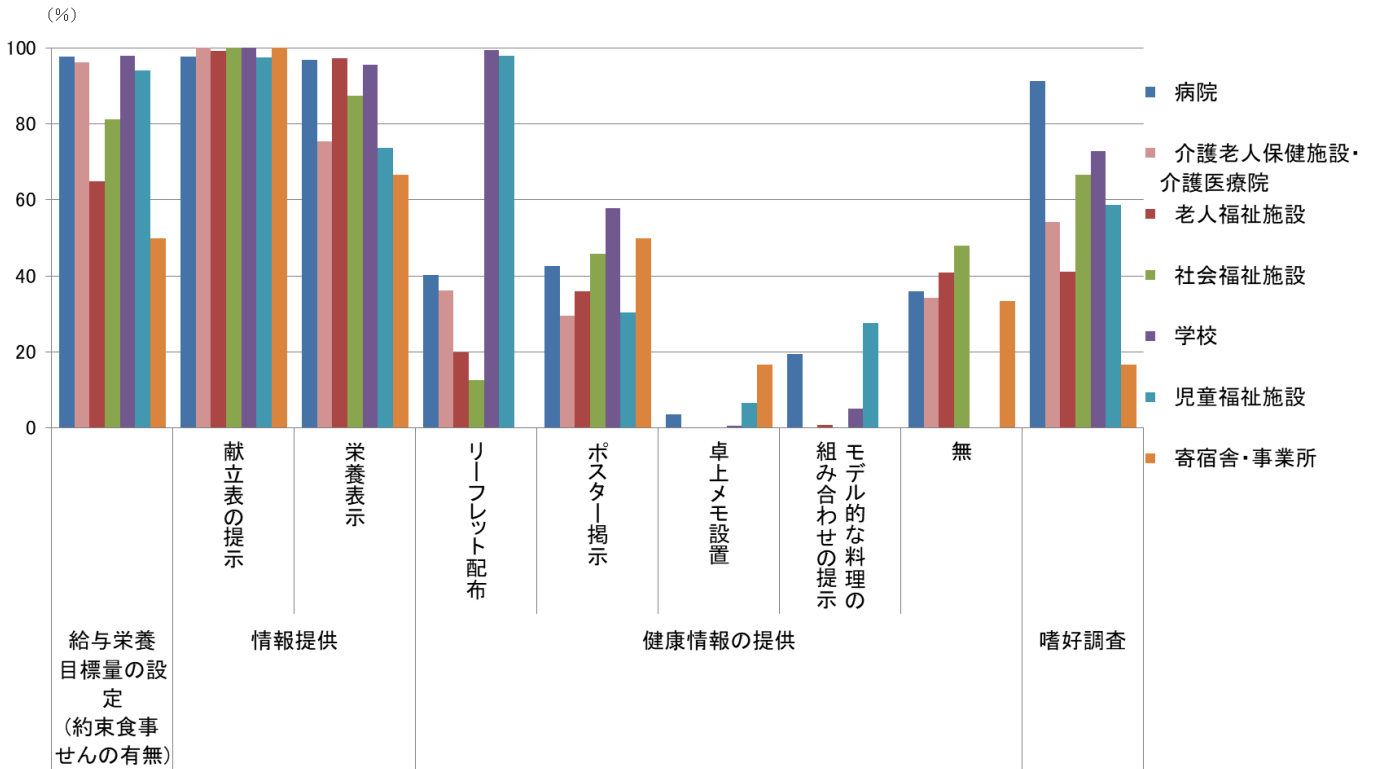
■ 一般食 ■ 療養食



入院患者（入所者）のうち、特別食（療養食）が必要な者の割合にも影響されるが、病院や介護老人福祉施設・介護医療院では、施設ごとに提供割合の差が大きかった。老人福祉施設や社会福祉施設が療養食を提供する割合は、平均1割未満であった。

(5) 集団的な食事管理

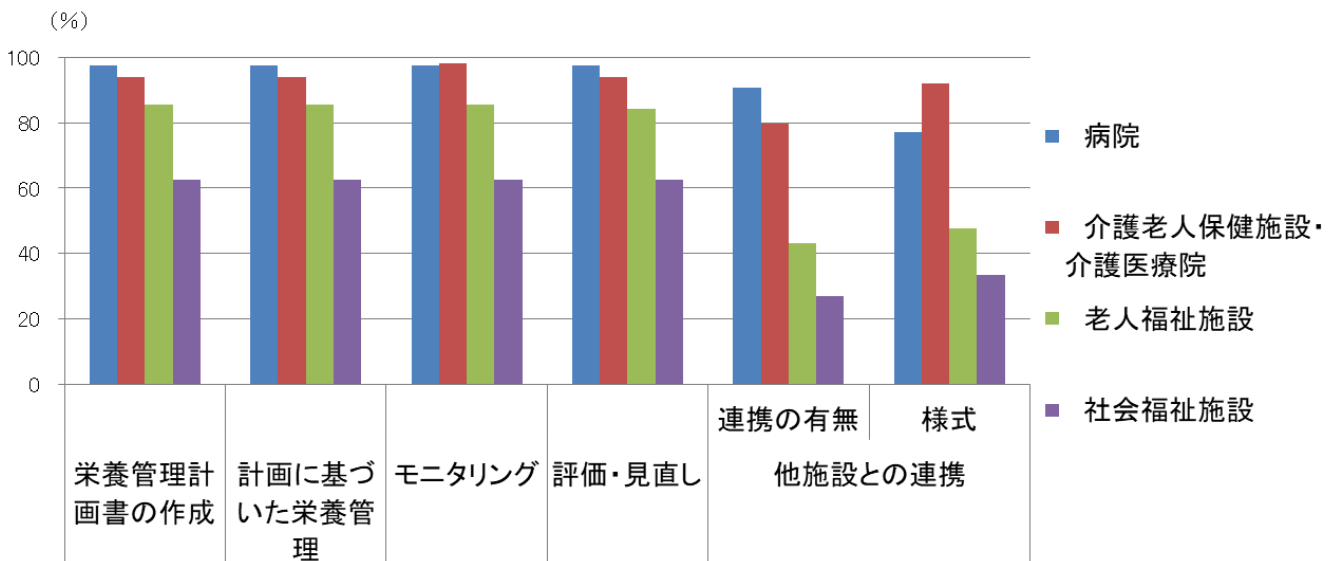
<特定給食施設：施設の種別別>



給与栄養目標量の設定は、老人福祉施設、寄宿舍・事業所で実施割合が低かった。栄養成分表示は、介護老人保健施設・介護医療院、児童福祉施設、寄宿舍・事業者で実施割合が低かった。リーフレットの配布は学校や児童福祉施設で高い割合で実施されていた。嗜好調査は病院の約9割で実施されていた。

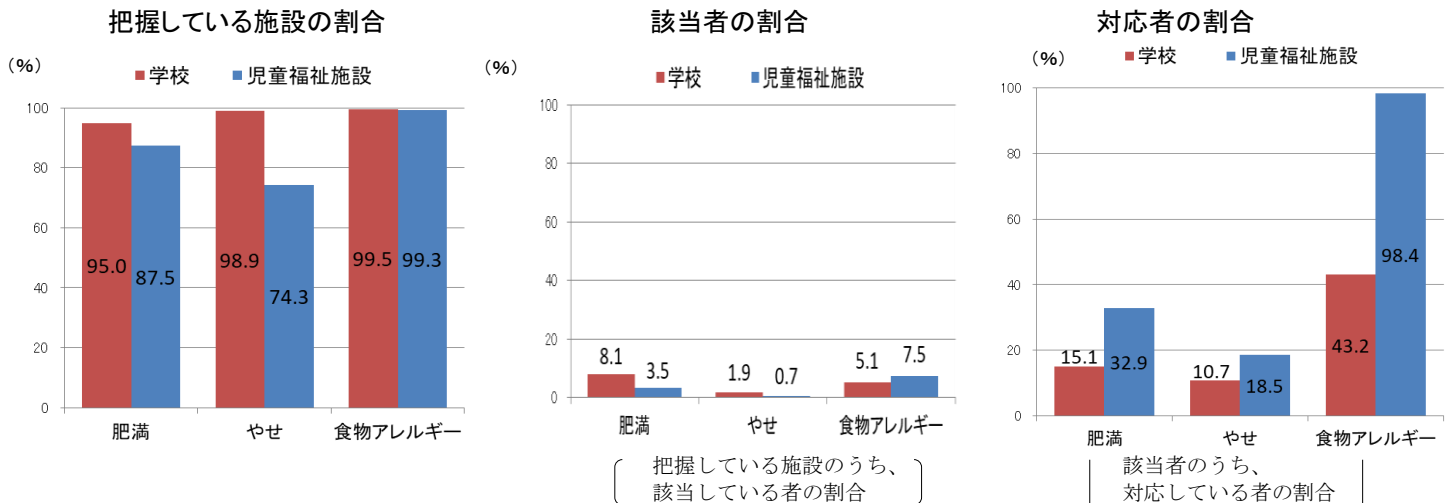
(6) 個別の栄養管理

<特定給食施設：病院、介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設>



個別の栄養管理は、病院、介護老人保健施設・介護医療院では概ねの施設で実施、老人福祉施設と社会福祉施設では6～8割の実施割合だった。他施設との連携は、病院、介護老人保健施設・介護医療院は7～9割、老人福祉施設と社会福祉施設は2～4割の実施割合だった。

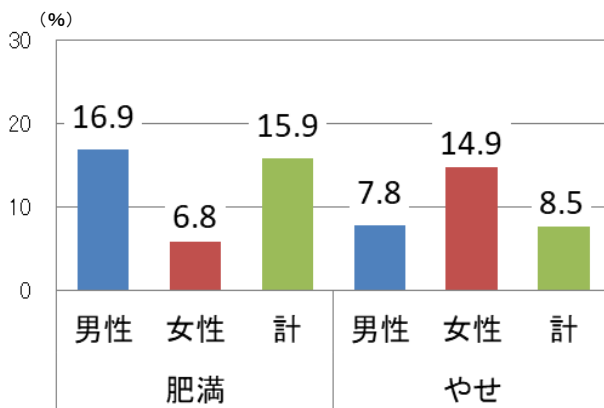
<特定給食施設：学校、児童福祉施設>



肥満・やせ・食物アレルギーについて、学校では9割が把握している。児童福祉施設では、食物アレルギーはほぼ全ての施設で把握しているが、肥満・やせの把握は7～8割の施設に留まっている。その該当者に対し、給食や指導により対応を行っている割合は、肥満・やせでは1～3割、食物アレルギーは学校で4割、児童福祉施設で9割以上だった。

<特定給食施設：寄宿舍・事業所>

肥満・やせの該当者の割合



寄宿舍・事業所における肥満者の割合は男性で約2割、やせの割合は女性の約1割であった。



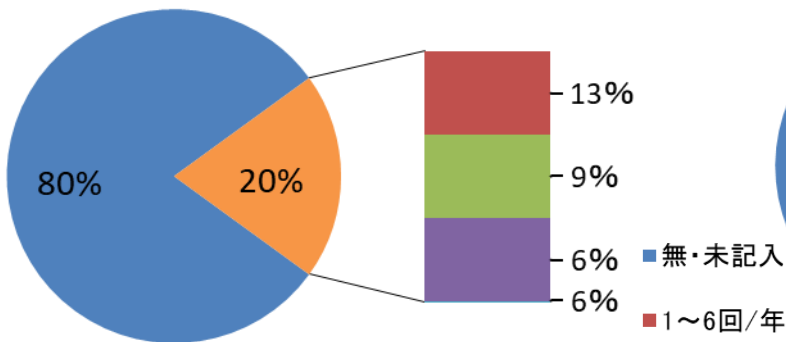
第4次元元気な福井の健康づくり応援計画では、健康寿命のさらなる延伸を目指し、給食を通じた利用者の栄養管理および健康づくりを推進しています。

学校、児童福祉施設、寄宿舍、事業所など健康増進を目的とする施設は、給食利用者の肥満・やせの状況を把握し、適切な栄養管理を進めましょう。

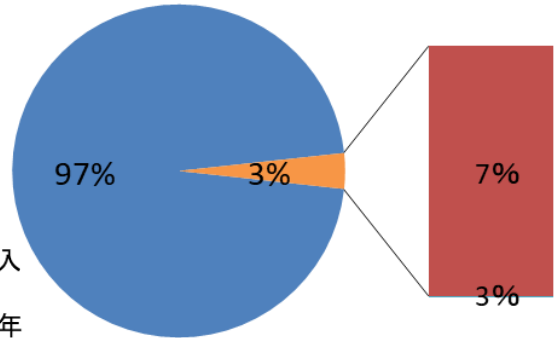
(7) 栄養教育

＜集団の栄養教育実施割合＞

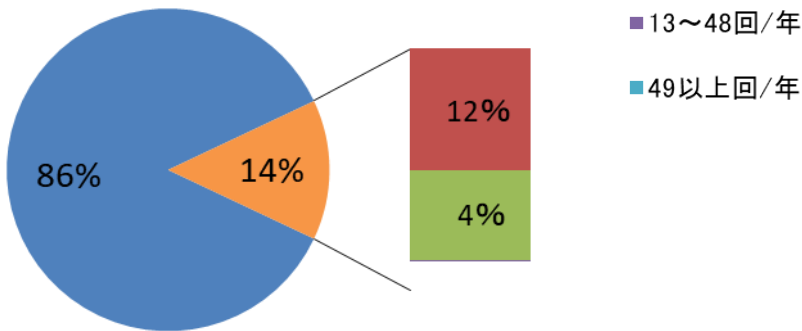
＜病院＞



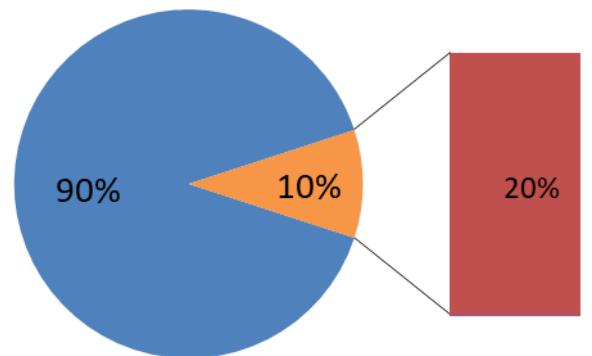
＜介護老人保健施設・介護医療院＞



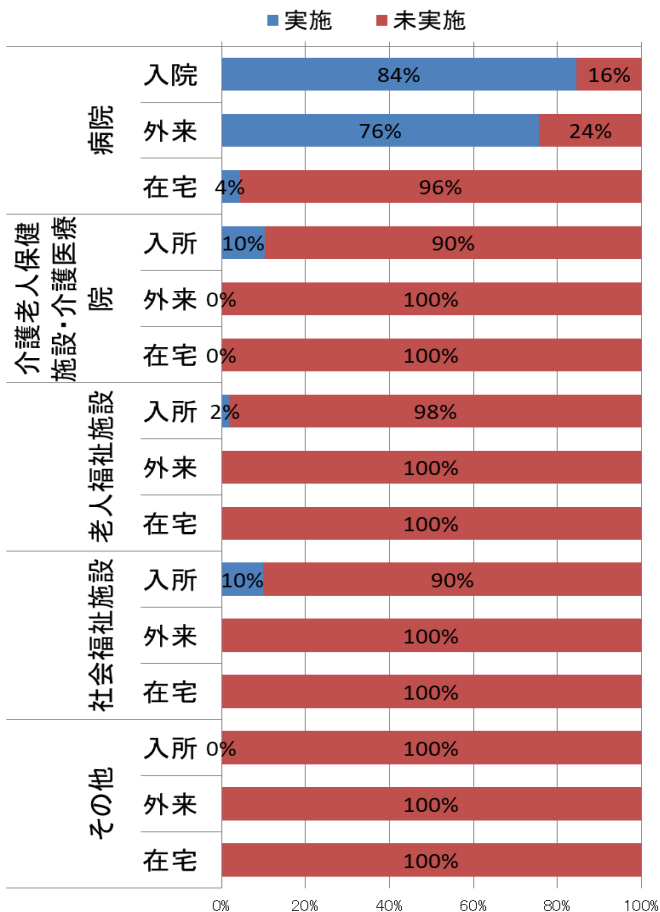
＜老人福祉施設＞



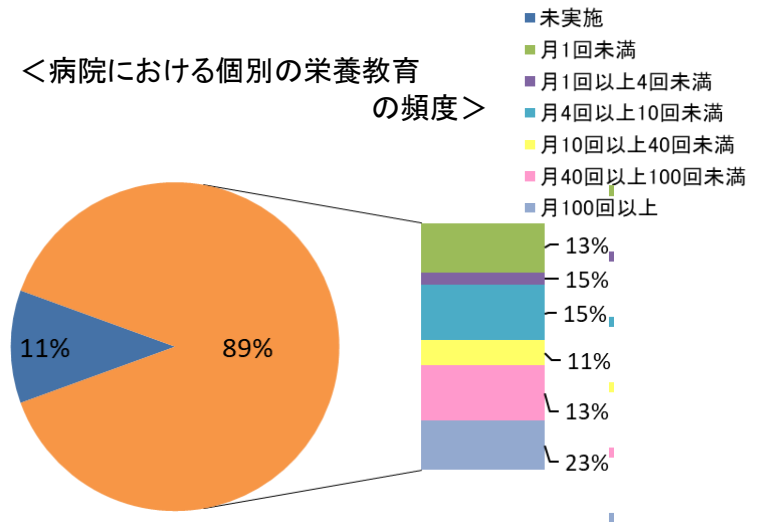
＜社会福祉施設＞



＜個別の栄養教育実施割合＞



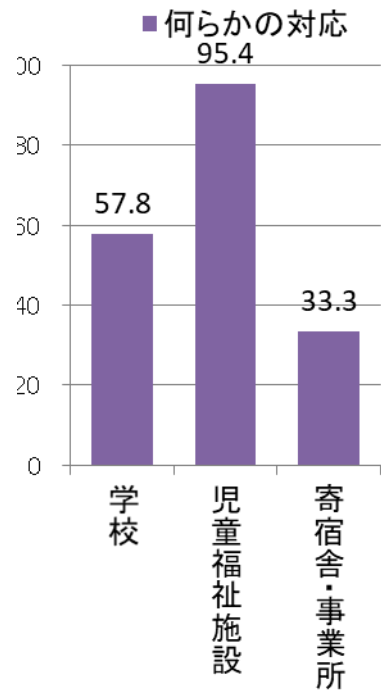
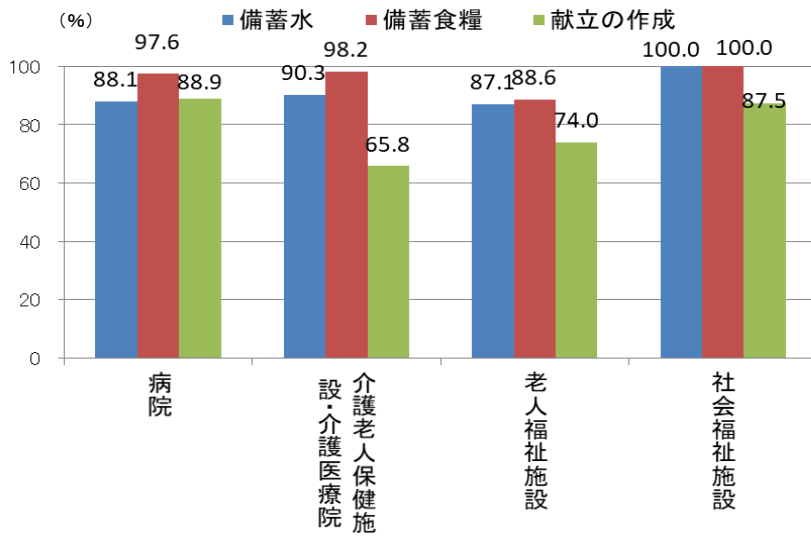
＜病院における個別の栄養教育の頻度＞



病院では、集団教育は2割程度、個別教育は9割の実施割合だった。在宅患者に対する栄養教育の実施割合は1割未満だった。

介護老人保健施設・介護医療院では、1割未満、老人福祉施設、社会福祉施設における集団教育は1～2割、個別教育は殆ど実施できていなかった。

(8) 災害に備えた対応



3食提供している施設では、災害に備えて水や食料を備蓄している割合は8～10割であった。災害時の献立を作成している割合は、病院・社会福祉施設は約9割だったが、それ以外の施設では6～7割でやや低かった。

また、健康増進を目的とした施設で、災害時に備えて何らかの対応をしている施設は、学校の約6割、児童福祉施設の約9割、寄宿舎・事業所の約3割であった。